

市長と語ろう地域懇談会 記録

【日 時】平成 29 年 10 月 5 日（木）午後 6 時 30 分～8 時 30 分

【会 場】東春地区コミュニティセンター

【対象地域】東町・春日町

【出席者】27 人

【記録者】野澤

担当部	意見・要望などの要旨	回答の要旨
総務部	富良野駅における貨物輸送の現状はどうなっているのか。	<p>【市長】富良野駅における貨物輸送は 8 月 1 日から翌年の 3 月 31 日まで運行し、富良野農協をはじめとする青果会社などの出荷物の内、鉄道による貨物輸送量は全体の 7 割を占め、おおよそ 9 万 t から 10 万 t であり、残りの 3 割はトラックによって輸送されている。鉄道による貨物輸送で、JR 貨物に支払われている額は約 18 億円と聞いている。今後、地域の足を守っていくということはもちろんであるが、鉄道輸送をトラック輸送に切り替えた場合は、トラックの運転手不足という課題もあることから、そういった現状も踏まえて鉄道による貨物輸送の維持存続と合わせて要望していきたいと考えている。</p>
総務部	<p>列車は燃料が 1ℓ あたり 1 km しか走らないと聞いている。それでは採算が合わないのは当たり前であり、そういったことを改善する必要があると思う。今は車が一家に一台ある時代であり、ハイブリット車が販売されるなど、従来の方法では鉄道は守れないと思う。みんなで JR を利用できるようなパッケージや富良野に来る観光客をターゲットにしたパッケージを考える必要があるのではないかと。赤字路線を単純にバスに転換しても数年後には、バス運行にも限界が来て同じことを繰り返すだけであり、民間事業者で何か方策を考えていく必要があるのではないかと。</p>	<p>【市長】国鉄分割民営化の段階からすでに北海道の鉄道経営は赤字になると言われており、経営安定基金の利息だけでは鉄道の整備も進まず、事故にもつながっている状況である。この問題は、JR 北海道にも安全面に対する怠慢などの責任はあるものの、国の責任も大きく、ヨーロッパにおいては鉄道が国有であり、そうしたことを考えるとやはり国に問題の解決を訴えていかなければならない。言われたとおり、バスに転換しても同じような状況になるかもしれない。しかし、地域で何もせずに国に訴えても説得力が無く、地域として何ができるのかしっかり考えながら行動した上で、国に訴えていく必要がある。また、鉄道に限らず免許を返納する高齢者も増えているなど、住民の足の確保をどうしていくのか、今後検討していかなければならないと考えている。</p>

市民生活部	<p>東町が生ごみ処理に関するごみ排出のモデル地域になった際には、地域で話し合っって資源回収ステーション単位で世話人や当番の人を決めて、分別が不十分で清掃車が回収しないごみ袋の中身をチェックする体制を作っていた。このような取り組みにより、地域の方はきちんと分別してごみを排出していたが、町内会に加入していない人や町内会以外の方が捨てるごみの分別が悪いということが判明した。しかし、町内会に加入していない人にごみを捨てるなどとは言えないので、市としてごみ捨ての標語を作るなどの市全体のモラルアップを図る取り組みを実施してほしい。</p>	<p>【市長】アパートなどの家主に対する対応も今後考えていかなければならない。今回実施するごみに関する説明会においては、市職員のコミュニティ推進員も含め、この機会に改めてごみの分別についてみなさんとともに考えていながら、今後ごみのリサイクルに協力をお願いしたい。</p>
経済部	<p>市内事業所の仕事の情報を提供しているフラノジョブスタイルの認知度がまだ足りないと思う。富良野にＵターンしてくる人たちにとっては仕事の情報は重要であるが、そういう人たちにフラノジョブスタイルの情報が行き渡っていない。富良野で仕事を探している人たちと企業をマッチングしたり、富良野でどんな仕事をしたいのかをマーケティングすることが必要ではないか。</p>	<p>【市長】貴重な意見である。富良野市は旭川市へ転出している人が多い状況であるが、そういった人たちの話やＵターンして来る人たちの話を聞きながら、フラノジョブスタイルを良いものにしていきたい。</p>
経済部	<p>フラノ・コンシェルジュ整備事業も重要だが、外国人に対するサイン（表示）がまだ足りないと感じている。例えば、道路標識も「止まれ」は読めないで、「STOP」と表示するとか、外国人に対するおもてなしが必要である。そのようなインフラ整備により、住民とのトラブルも回避できると思う。</p>	<p>【経済部長】外国人観光客は、今後東京オリンピックなども控える中、どんどん増えていく状況であり、駅周辺を回遊する外国人にも配慮した外国語表示を増やすなど、フラノ・コンシェルジュ整備事業を進めていく中で対応していきたい。</p>
総務部	<p>近年水害が増えてきているが、市役所庁舎は今の場所では危ないと思う。今後、市役所庁舎の改築はどのようなイメージをしているのか。</p>	<p>【総務部長】他の懇談会でも自分の地域に近い場所が良いとか、現在の場所では、空知川が近く万が一堤防が決壊した場合は、庁舎が水に浸かるのではという話があった。市では、平成24年から庁舎の改築に向け基金の積立をしていたが、熊本地震により市</p>

建設水道部	市道東雲通の工事着工はいつごろになるのか。	<p>町村の庁舎が被害を受けたことを受けて、国が交付税措置などの支援を実施することになったことから、地域懇談会などでみなさんの意見を聞きながら、改築に向けて進めていきたい。</p> <p>【市長】場所の問題や文化会館と合わせた複合的な施設にするなど、みなさんからのさまざまな意見を聞きながら、計画的に進めていきたい。</p> <p>【建設水道部長】今年度は、都市計画の決定と合せて事業認可を受けて、基本設計を進めている状況で、来年度から実施設計と一部工事を進めていく予定である。工事を着工する前には、工事事業者とともに住民説明会を行う。</p>
建設水道部	春日町にあるすみれ公園は、建設されてからかなりの年数が経過しており、コンクリートブロックや柵などがかなり傷んでいる状況である。また、保育所の園児たちも遊んでいるようだが、見ていると遊具が少ないように感じる。子どもたちの要望に応じた遊具の設置をお願いしたい。	<p>【建設水道部長】市内の公園に関しては、国の補助事業により順次リニューアルを実施しているが、国の予算措置が厳しい状況もあり、計画通りに進んでいないのが現状であり、すみれ公園に関してはしばらくお待ちいただきたい。遊具に関しては、保育所からも要望があれば、対応していきたい。</p> <p>【市長】公園の整備については緊急度や使用頻度などにより、計画的に整備を進めているところだが、実態を把握しながら対応していく。</p>
建設水道部	公園の木にカラスが巣を作り、市に相談したが対応してくれない担当者がいた。公園の木はそんなに高くなくても良いと思う。ある程度剪定していただきたい。	<p>【建設水道部長】樹木の高い場所に巣ができた場合、消防署の協力を得て、放水により巣を落としている。消防署もすぐに対応できない場合もあり、ある程度そういった箇所をまとめて協力を依頼しているので、ご理解いただきたい。</p> <p>【市長】緊急性などもあることから、時間を置かず臨機応変に対応する。</p>

<p>総務部</p>	<p>地域懇談会は6時30分から行われているが、ある高齢者が暗い時間になると、帰りが怖いとの話が合った。明るい時間に実施してほしい。</p>	<p>【市長】仕事を終えて参加する人など、さまざまな市民が参加するので、平均的な時間で開催しているが、希望があれば市の方で送り迎えすることもできるので、そういった形で参加願いたい。 【総務部長】グループであれば市長トークもできるので、利用していただきたい。</p>
<p>教育委員会</p>	<p>総合計画の基本目標の1の子育て支援の項目があり、雨天でも子どもたちが遊べる場所を作るとなっているが、現在においても雨天でも遊べる場所が富良野にはない状況である。過去においてもそういった話が出ていると思うが、検討しているのか、進んでいるとしたらどこまで話が進んでいるのか。</p>	<p>【市長】マルシェ2にあるタマリーバでも遊べるようにしている。また、ふらっとの1階もスペースが空いている状況があり、利用について現在検討している。</p>
<p>市民生活部</p>	<p>災害により、河川敷地のグラウンドが水に浸かり使えない状況があったが、また同じような災害が起きると使えなくなるため、スポーツ施設として利用すべきではないと考える。他の場所にスポーツ施設を作ることは考えていないのか。</p>	<p>【市民生活部長】当面は河川敷地を利用するというので、9月に復旧している。今後も災害がないとは断言できないが、野球場などの場所が確保できない状況から河川敷地を利用しており、今後の検討課題として受けとめたい。 【市長】市役所庁舎を改築する際には、土地利用の話も出てくる可能性があり、そういったことも含めて検討する必要がある。また、学校の統合も進んで行くことが予想され、距離的な課題はあるが、学校のグラウンドを活用することも考慮していきたい。</p>
<p>総務部</p>	<p>北朝鮮など、世界的に有事の問題がある。一部地域では訓練をしているようだが、市として危機管理についてはどう考えているのか。</p>	<p>【市長】戦争するということは、お互いにつぶし合いになることであり、報道によると、核の保有に関してそれぞれの国が主張している状況という認識をしている。万が一北朝鮮がミサイルを発射した場合は、数分秒でミサイルが到達するため、防ぎようがないため、まずはどこに身を隠すかを考えなければならない。市としては迅速な情報伝達や有事における対応について住民意識を高めていく取り組みしかできなと考えている。</p>

市民生活部	市議会だよりに載っていたが、共同墓地はどのような状況になっているのか。	【市長】一昨年に議会で質問があり、宗教法人などの代表者と話し合いをし、場所や規模など来年の3月までに前向きに検討し、結論を出すこととしている。
保健福祉部	独居老人はどれくらいいて、亡くなった場合はどのような対応をしているのか。	【市長】身元の分かる方は親族で、身元がわからない人は市で対応している。単身が1千世帯で夫婦は2千世帯いる状況である。 【保健福祉部長】昨年の民生委員による調査では単身世帯は約900世帯となっている。独居となられた方については、民生委員が訪問し状況を伺い、地域支え合いマップをつくり見守りをしている。この地域では、民生委員と連合会・町内会が連携しながら支え合いマップを作り地域による見守りが行われており、各地域での民生委員と地域が連携した見守り体制づくりが進められている状況にある。
教育委員会	子どもたちが遊べる屋内施設について先ほど話がありましたが、設計の段階で地域のお母さんに入ってもらうことはどうか。要望するお母さんたちにも責任を持たせるためにも加えてほしい。	【総務部長】誰がどう運営するなどの役割も含め、貴重な意見として受け止める。